

学生意見の募集と回答について

その改善点とシステム構築

学生代表者会議 3班

多賀谷直樹 村上友理 大野朗広 一幡大輔

2. 課題の原因について

募集

① アンケート調査への回答率(%)が低い
→ 効率的でない募集方法

② アンケート実施頻度(2回/年)が低い
→ 意見要望までの時間が長い

回答

③ 学生代表者会議の存在が知られていない？
→ 存在意義や認知度不足

④ HP等の掲載(https://www.ehime-u.ac.jp/campus_life/meeting/) だけでは、
大学側からの回答が学生へ届いていない？
→ せっかくの回答や労力が勿体ない

3. 改善案について(募集方法)

募集

① アンケート調査への回答率(%)が低い
→ 効率的でない募集方法

② アンケート実施頻度(2回/年)が少ない
→ 意見要望までの時間が長い

<改善案>

目安箱(アンケートフォーム)を常時設置する

→ 学生側が意見要望を書きやすい・送りやすい

→ 適時な意見要望が集まる

3. 改善案について(募集方法)

目安箱 (アンケートフォーム) の設置方法

A. 紙媒体(集計労力高)

専用用紙とともに、各学部チームや学生生活支援課の窓口等に目安箱等を設置し収集
不用意な物品の投入を防止する

B. フォーム等のwebサービス (集計労力低)

いつでもどこでも質問や要望を送信できるMicrosoft Formsを利用することで、
学籍番号でログインを必要とし、愛大生からのみ意見を収集することができる
より詳細な意見を聞きたい際に、意見者との連絡を取ることができる
大学生側も先生職員方側も負担の少ない収集を行うことができる

→ **スピーディーな回答や要望の収集**

→ **幅広い意見収集可能**

→ **課題分析の容易化や改善方法実施の早急化に繋がる**

4. 改善案について(回答方法)

〈改善案〉

意見要望とそれらに対する回答を学生に周知する

→ **大学側に声が届いていることを学生側が実感できる**

回答

③ 学生代表者会議の存在が知られていない

→ **存在意義や認知度不足**

④ HP等の掲載(https://www.ehime-u.ac.jp/campus_life/meeting/) だけでは、

大学側からの回答が質問者へ届いていない

→ **せっかくの回答や労力が勿体ない**

4. 改善案について(回答方法)

回答方法

A. 図書館横の掲示板に掲載

入構した際に、意見要望に対する大学側の説明をいつでも見られる状態にする。

B. 学生代表者会議を録画・アーカイブ配信する

愛媛大学保有のMicrosoft StreamやYouTubeチャンネルにて、学生代表者会議での説明や質疑応答を代表者以外の学生が閲覧できる状態にする。いつでもどこからでもアクセスでき、大学からの説明や回答を閲覧できる。

C. 修学支援システムの全学メールを通じて連絡

HPに掲載したことや、掲示板に掲載したことなどを、通知する。
また、全学メール文面に回答内容について添付や記載する。

4. 改善案について(回答方法)

回答方法

D. Microsoft Teamsでの専用チャンネル立ち上げ

Microsoft Teamsで、チャンネルを立ち上げ、質問や要望への回答を掲載する。

愛媛大学生のみが閲覧できる仕様のため、安全性が保たれるだけでなく、Teams内に検索機能があるため、回答を閲覧したい学生が必要な時に必要な場所で閲覧することができる。

さらに、リアクション機能を使用することで、学生からの直接的な反応を得ることができ、学生が何を求めているのか、いないのか、把握しやすくなる。

E. 回答集の作成を学生代表者会議メンバーが担う

学生代表会議後、学生への意見要望に対する回答を学生代表者会議メンバー資料としてまとめ、学生へ公開する。

→ **認知向上と風通しの良い大学へ**